

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200888		
法人名	特定非営利活動法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけぐーと有延 2階		
所在地	山口県岩国市周東町下久原36-1		
自己評価作成日	平成24年8月26日	評価結果市町受理日	平成25年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=35
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年9月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

人としての普通に生活できることを目指します。認知症を疾患として正確に捉えたうえで、その人にとって当たり前の生活ができるように支援することが私たちの役割と考えます。その人の人生の仕上げのお手伝いをさせて頂いて、私達自身も人として成長させて頂いていると考えます。介護する人、される人の関係ではなく、一緒に生活している人として、目配り、気配り、心配り、そして思いやりを胸に穏やかな笑顔でかわっていきます。ゆっくり、一緒に、楽しく、その人らしくを大事に寄り添っていきます。地域交流会が継続的に行われ、地域の方からの理解もいただけ、自動火災通報装置の連絡網への登録等協力いただいています。近所の方からお花や野菜を頂いたり、料理の方法を教わったり交流が持っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりを尊重し、敬愛の念を持って向き合い、利用者と共に暮らす者として寄り添い、その人らしい生き方を支援しておられ、利用者も穏やかに安心して過ごされています。重度化や終末期には早い段階から本人や家族・かかりつけ医・職員とも話し合い、方針を共有して対応をしておられます。終末期や看取りに対する研修を実施され、看取り後は家族や職員のメンタルにも配慮した取り組みが行われています。職員を育てる取り組みとして、内部研修・外部研修・資格取得への支援が行われ、新採用職員には個別に指導職員が専任され、業務の中でのリアルタイムな課題に対して個別に実地指導が行われています。課題は研究として発展させ同業者の集まりや学会で発表、その成果は日々のサービスに活かされるという循環もあり、サービスや職員の質や技術の向上に活かされています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200888		
法人名	特定非営利活動法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけーと有延 3階		
所在地	山口県岩国市周東町下久原36-1		
自己評価作成日	平成24年8月26日	評価結果市町受理日	平成25年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=35
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年9月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

人としての普通に生活できることを目指します。認知症を疾患として正確に捉えたうえで、その人にとって当たり前の生活ができるように支援することが私たちの役割と考えます。その人の人生の仕上げのお手伝いをさせて頂いて、私たち自身も人として成長させて頂いていると考えます。介護する人、される人の関係ではなく、一緒に生活している人として、目配り、気配り、心配り、そして思いやりを胸に穏やかな笑顔で関わっていきます。ゆっくり、一緒に、楽しく、その人らしくを大事に寄り添っていきます。地域交流会が継続的に行われ、地域の方からの理解も頂け、自動火災通報装置の連絡網への登録等協力頂けています。近所の方から野菜や苗を頂いたり、料理の方法を教わったり交流が持っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりを尊重し、敬愛の念を持って向き合い、利用者と共に暮らす者として寄り添い、その人らしい生き方を支援しておられ、利用者も穏やかに安心して過ごされています。重度化や終末期には早い段階から本人や家族・かかりつけ医・職員とも話し合い、方針を共有して対応をしておられます。終末期や看取りに対する研修を実施され、看取り後は家族や職員のメンタルにも配慮した取り組みが行われています。職員を育てる取り組みとして、内部研修・外部研修・資格取得への支援が行われ、新採用職員には個別に指導職員が専任され、業務の中でのリアルタイムな課題に対して個別に実地指導が行われています。課題は研究として発展させ同業者の集まりや学会で発表、その成果は日々のサービスに活かされるという循環もあり、サービスや職員の質や技術の向上に活かされています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	2階	(1) ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に「私たちは今持っている力で地域住民の一員としていけるお手伝いをします」と掲げています。施設内研修等で理念を再確認したり、入職時のオリエンテーションで説明をして共有しています。また、目につく場所に理念を掲示し、職員一同、その理念を共有し実践しています。	縁あって共に過ごすようになった利用者に対し、事業所独自の「ありがとさん理念」に基づき、いつも優しく穏やかな笑顔でゆっくり一緒に楽しく生活できるように支援している。フロアごとの入口・台所といったすぐ目につくところに、理念を掲示し、職員同士共有し合い、実践に繋げている。月1回の研修時に、理念を実践するには具体的にどうするのかをテーマにして話し合ったり、年度初めには、内部研修で確認をしている。	
3階		(1) ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『私たちは今持っている力で地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします』と掲げています。また、施設内研修等で理念を再確認したり、入職時のオリエンテーションで説明し、共有しています。目に付く場所に理念を掲示し、職員一同、その理念を共有し実践しています。		
2	2階	(2) ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月一回、地域交流会を開催し、ハーブ石鹸作り、フラワーアレンジメントなどを実施しています。散歩に出かけた時などは、地域の方々とあいさつを交わして交流を図っています。また、近所の方に野菜や花などを頂く機会が度々あります。	事業所の行う地域交流会での交流や、夏祭りへ地域の人の参加があり、交流している。地域の祭りに参加したり、文化祭に作品を出展して見学する他、近所の人や子供たちとの交流など、日常的に交流している。	
3階		(2) ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に1回地域交流会を開催し、フラワーアレンジメントや、健康体操等を実施しています。交通安全マスコット贈呈式や、地域の文化祭や、幼稚園の行事など継続して参加させて頂いている。また、近所の方に野菜や苗などを頂く機会がある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月一回、地域交流会を開催し、地域の方を講師に迎えるなどして地域の方に役立つようなカルチャー教室を実施しています。		
2階					
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月一回、地域交流会を開催し、カルチャー講座や地域の方に役立つようなカルチャー講座を実施している。広報誌の中で、「認知症を理解しよう」というコーナーを設け、発信している。		
3階					
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	運営者、管理者、職員は、評価の意義を理解しています。自己評価は職員全員で話し合い、意見を取り入れています。また、評価から見えてきた改善点については職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。	運営者、理者、職員共に評価の意義を理解しており、自己評価は職員全員で話し合い管理者がまとめている。評価によってみつかった課題は、職員全員で話し合い具体的な改善に活かしている。	
2階					
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価は、全員の意見を取り入れている。また、結果報告も行い、評価から見えてきた課題改善にも取り組んでいる。		
3階					
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催しています。自治会長、民生委員、社会福祉士事務所代表、地域包括支援センター、ご家族、理事長、統括管理者、各ユニット管理者が参加しています。毎回テーマを決めて取組の報告をして、ご家族や地域の方の意見を聞いて話し合いをしています。	2ヶ月に1回開催し、その時々課題にそつた事例報告や問題提起を行って話し合いをし、防災に係る地域の連絡網の中の事業所の位置づけなどの意見をサービス向上に活かしている。	
2階					
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、地域の方々(自治会長、民生委員、社会福祉士事務所代表、地域包括支援センター等)、ご家族、理事長、統括管理者、ユニット管理者のメンバーが参加している。毎回テーマを決め、施設の取り組み等を交えて報告し、ご家族や地域の方と意見交換している。		
3階					

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6 2階	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者と相談しながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。また、管理者がキャラバンメイトで活躍しています。	市担当者とは日頃から連携を密に取り、協力関係を築いている。市職員の認知症のサポーター養成講座に統括管理者や管理者がキャラバンメイトとして講師を務めている。	
6 3階	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者と密に連絡を取り合い、相談し助言を頂きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。管理者がキャラバンメイトとしてサポーター養成講座にたずさわっている。		
7 2階	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	院内研修を行い、職員全員が正しく理解をしています。マニュアルも作成し、抑制、拘束のないケアに取り組んでいます。また日中は玄関の施錠はしていません。外出を察知すると、本人の気持ちを考慮しながら一緒に散歩や買い物に出たり工夫をしています。土日は1階が休みで不在なので、安全のために施錠をしています。	マニュアルがあり、内部研修で学び、全ての職員は身体拘束について正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7 3階	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、施設内研修を実施し、拘束や抑制のないケアに取り組んでいる。また日中は玄関の施錠はしておらず、玄関より出られた場合には、本人の気持ちを考慮しながら一緒に散歩したり、対応を工夫するようにしている。（土日は1階が不在のため、安全の為施錠をしている。）		
8 2階		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	院内研修で虐待についての勉強会を行ったり、外部研修に参加しています。施設内での虐待が見過ごされないように注意し、防止に努めています。		
8 3階		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修や外部研修へ参加し、虐待の防止に努めている。虐待防止マニュアルを作成している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	2階	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉士事務所から情報をいただいて相談にのってもらっています。		
9	3階	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉士事務所代表から情報をいただいている。相談にのってもらうこともある。		
10	2階	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に契約について充分にご家族に説明しています。改定がある場合には文書でお知らせをし、理解、納得をしていただいています。		
10	3階	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を読んで、わかりやすく説明している。直接会う機会を多くして、十分な理解が得られるようにしている。質問等があれば納得がいくまでお話ししている。		
11	2階	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者さん、ご家族からの相談、苦情の受付体制を定めています(各階入口に掲示)。入居者さん、ご家族の方々が遠慮なく苦情、不満などを職員に言えるような関係作りを心掛けています。	相談、苦情の受け付け体制や処理手続きを定め、家族に周知している。運営推進会議、電話、面会時等に意見や要望を聞いている。「お困りごとはないですか」と声をかけたり、意見箱を設置して、家族が意見を言いやすいようにしている。	
11	3階	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族の方々が遠慮なく苦情、不満などを職員に言えるような関係づくりを心がけている。面会時や電話、運営推進会議等で家族の意見や不満を聞き反映させている。苦情相談窓口、外部苦情申立機関、第三者委員を重要事項説明書に明記し、掲載版に掲示している。また、意見箱を設置している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12 2階	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや普段の会話、管理者や理事長との会話などで意見交換し、反映させています。人事考課の中に自己評価があり、希望や要望の欄があって、記入できるようにしている。	月1回のミーティングの中で職員から意見や提案を聞く機会を設ける他、日々の業務の中で聞いている。サービスに必要な備品の購入や改善などの意見を運営に反映させている。	
12 3階	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段の会話やミーティング、人事考課時自己評価時に意向・要望等を聞き反映させている。		
13 2階		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当、昇給などにより処遇改善を行って「働きたい」という意欲が持てるように努めています。パートさんはできる限り希望する時間帯で勤務してもらい、できるだけ負担のないようにしています。休憩場所を確保している。		
13 3階		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当、昇給等により、処遇改善を行って「働きたい」という意欲が持てるように努めている。休憩室を確保し、他部署職員とも交流を持ちコミュニケーションの場づくりをしている。		
14 2階	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月一回、施設内研修を行い、外部研修にも積極的に参加できるようにしています。また、プリセプター方式を取り入れ、新人職員の育成をしています。	外部研修には積極的に参加できるよう、勤務の一環として参加の機会を提供している。内部研修は月1回計画的に実施している。新採用職員には指導担当の職員を専任し、働きながら計画的学べるように支援している。	
14 3階	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修を月1回行ったり、外部研修に積極的に参加できるようにしている。プリセプター方式を取り入れ、新人職員の育成をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15	2階	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山口県宅老所、グループホーム連絡会で他施設の職員と交流を持ったり、勉強会などに参加しています。また、岩柳地区のグループホーム連絡会にも参加し、近隣のグループホームと情報交換をしています。		
15	3階	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山口県宅老所・グループホーム連絡会で他施設の職員と交流を持ったり、勉強会、講演会などに参加している。また、岩柳地区のグループホーム連絡会にも参加し、近隣のグループホームと情報交換をしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16	2階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前訪問をして、ご本人が困っていること、不安なこと、要望などに耳を傾けながら信頼関係が築けるように努力しています。また、センター方式を利用しながら、パーソンセンタードケアに努めるようにしています。		
16	3階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前訪問をしたり、体験入居をしてもらい、信頼関係が築けるように努力している。センター方式を利用しながら、パーソンセンタードケアに努めるようにしている。		
17	2階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の事前訪問でもご家族とよく話をし、コミュニケーションを取るようにしています。また入居後もよく話し合いをして信頼関係を築けるようにしています。		
17	3階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から、利用後もよく話し合い、信頼関係を築けるように努めている。入居前より頻繁に面談し、コミュニケーションをとるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18	2階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族と面談し、意向を充分引き出せるように努力しています。また、慣れるまで不安がある方については、ご家族と一緒に宿泊していただきながら少しずつ馴染んでいただくようにしています。		
18	3階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人さん、ご家族と面談し、意向を十分引き出せるように努力している。また、馴染むことに不安がある方については、ご家族と一緒に宿泊していただいたりしながら、徐々に馴染んでいただくようにしている。		
19	2階	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることは頼りにしてやっていただいたり、教えていただいています。食材の下処理、洗濯物干し、洗濯物たたみなど一緒に行っています。その中で昔からの知恵などを教えていただくこともあります。		
19	3階	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることは頼りにしてやっていただいたり、教えていただいている。食事づくり、掃除、洗濯物たたみなどを一緒に行う中で、昔からの知恵などを教えてもらうことがある。		
20	2階	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や電話、ケアプラン説明時にご家族と相談しながら、ご本人と一緒に支えていける関係作りに心掛けています。また、自宅にいた時と同様、もしくはそれ以上に良い関係が継続して築けるように支援しています。		
20	3階	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話時、ケアプラン説明時にご家族と相談しながら、本人さんを一緒に支えていける関係づくりに心がけている。また、自宅にいたときと同様、もしくはそれ以上に、継続して良い関係が築けるように支援している。月一回写真付きの手紙を出し、本人の様子をお伝えしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コミュニケーションを取る時に話題にしたり関係や存在がある事を実感してもらうようにしています。馴染みの場所へ個別に外出する機会を設けています。(教会へ礼拝)	馴染みの美容院の利用や教会での礼拝、商店での買い物を支援したり、家族との手紙や携帯電話でのやりとりの支援をしている。以前住んでいたところの友人の訪問もある。外出計画書及び実施報告書を作成し、遠方へ出かけ、途中で利用者の親族と合流して一緒に墓参りをし、しばらく故郷で共に過ごすという支援もしている。	
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コミュニケーションをとるときに話題にしたり、関係・存在があることを実感してもらうようにしている。馴染みの場所く美容室、花屋、実家へ個別に外出する機会を作っている。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士、一緒に散歩に出たり、お互いの部屋でお話をしたり、支援しています。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく、気の合う方同士が関わりあえるようにフォローしている。また、スタッフが間に入り関わりが持てるように援助している。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去先の施設にはサマリー、ケアプランを提供しています。入院の場合は、御見舞いに行きます。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時他施設への転居時には、サマリー等を提供している。入院時は、御見舞いに行ったり写真を届けたりする。看取りの場合、スタッフの感想を手紙にしてお渡しする。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24 2階	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、一人ひとりの思いや希望を尊重し、無理強いせず、思い思いに過ごしていただいています。また、何気ない会話の中で、困っていること、本人の思いを聴くことに常に気を配って、思いや意向を記録しています。	センター方式のシートを活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向を把握している。シートの記録は更新し、その時の気持ちや希望を大事にしている。日々の生活記録に本人の言葉を記載し、思いを職員間で共有している。困難な時には本人本位に検討している	
24 3階	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、一人ひとりの思いや希望を尊重し、無理強いせず、思い思いに過ごしてもらっている。共に過ごしながら何気ない会話の中で、どうして困っているのか本人の思いを聴くことに常に気を配り、思いや意向を記録している。		
25 2階		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人やご家族にセンター方式に基づいた聞き取りを行ったり、入居後も会話の中からその方の情報を一つでも多く得られるコミュニケーションを図っています。また、ご家族にもその都度教えていただいています。		
25 3階		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人やご家族に、センター方式に基づいた聴き取りを行ったり、入居後も会話の中からその方の情報を一つでも多く得られるコミュニケーションをとっている。また、ご家族にもその都度教えていただいている。		
26 2階		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、ケア記録、伝達事項などを活用し、スタッフ同士で情報を共有し、入居者さん一人ひとりの状況を把握するように努めています。		
26 3階		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、ケア記録、伝達事項等を活用し、スタッフ同士で情報を共有し、利用者さん一人ひとりの現状を把握するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見、意向、気持ちを取り入れながら受け持ち担当者がケアプランを作成しています。ケアプラン会議を開催し、意見交換を行っています。必要に応じて主治医の助言をいただいています。	本人や家族の意見や意向、かかりつけ医の意見を参考にして、利用者の担当職員が介護計画を作成し、毎月ケアプラン会議を開催して、話し合っている。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、6か月ごとや状態に変化があった時に見直しをしている。	
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意見・気持ちを取り入れながら、受け持ち担当者が立案し、各職種参加のもとケアプラン会議を開催し、意見交換を行っている。必要に応じて医師の助言を頂いている。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録には実践、状態、反応、スタッフの思ったことなどを記入しています。また、申し送りやスタッフ間で情報交換を行うことで、その後の援助方法やケアプランの見直しに活かされています。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に実践、状態、反応、スタッフの思ったことなどを記入することや、申し送りやスタッフ間の情報交換を行うことで、その後の援助方法やケアプランの見直しに活かされている。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や、医療の活用を行っています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や、医療の活用をしている。骨折された人の早期退院を支援し、グループホームで日常生活リハビリや機能訓練をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	2階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアや移動図書館などと継続した関わりを持っています。また、入居前から通っておられた馴染みの場所(教会への礼拝)へ行けるよう援助しています。		
30	3階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	幼稚園、移動図書館等との継続した関わりを持っている。また、入居前から通っておられた馴染みの場所(美容院や商店街等)へ行けるよう援助している。		
31	(13) 2階	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望する医療機関を利用しています。当施設の看護師とこまめに連絡を取り合っています。また受診時には、医師への近況報告のお手紙をつけています。また、必要に応じてスタッフが付き添っています。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。事業所の看護師が協力医療機関の看護師と密に連携し、受診の付き添いや情報提供を行い、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31	(13) 3階	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望する医療機関を利用している。当施設の看護師とこまめに連絡を取り合っている。また受診時には、医師へ近況報告のお手紙をつけ、フィードバックしている。必要に応じて、スタッフが付き添っている。		
32	2階	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者さんの健康状態、薬の変更、急変時には随時、当施設の看護師に報告、相談しています。また、医療連携体制を取っており、協力病院看護師とも協力体制を取っています。		
32	3階	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者さんの健康状態、薬の変更、急変時には、随時、当施設の看護師に報告、相談しています。また、医療連携体制をとっており、協力病院看護師とも協力体制をとっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	2階	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護要約を提供しています。入院中は当施設の看護師が病院関係者と連携を取り合ったり、本人の状態を見に行っています。また、ご家族の相談も受けています。		
33	3階	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、介護要約を提供している。入院中は当施設の看護師が病院関係者と連携を取り合ったり、本人の状態を観に行っている。ご家族の相談も受けている。		
34	(14) 2階	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には重度化指針について説明しており、重度化、終末期には医師、ご家族、ご本人、スタッフ等とケアカンファレンスを開き、方針を話し合い、より良い方法を考え共有しています。他施設や病院などへの移動の場合は要介護要約、ケアプラン等の提供を行っています。また、終末期には看取りの同意書を交わしています。	重度化対応の指針を契約時に家族に説明している。重度化や終末期には早い段階から本人や家族、医師、職員で方針を話し合い、終末期には看取りの同意書を交わし支援している。重度化や看取りに対する研修を行い、看取り後は職員一人一人が思いを書いて家族に渡すなど、看取り後の職員や家族のメンタルケアにも配慮している。	
34	(14) 3階	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化指針について説明しており、重度化、終末期には医師、家族、本人、スタッフ等とケアカンファレンスを開き、方針を話し合い、よりよい方法を考え共有している。他施設や病院などへの移動の場合は、看介護サマリーやケアプランの提供を行っている。また、終末期には看取りの同意書を交わしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故などがあった時は「ひやりはっと事故報告書」を作成し、皆で共有し、対応を考え、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むようにしています。避難訓練を定期的に行うと共に、マニュアルを作成し、いざという時に備えています。また、施設研修で再確認しています。	ヒヤリハット・事故報告書を作成し、一人ひとりの事故を分析検証し再発の防止に取り組んでいる。事業所独自の対応マニュアルを転倒や誤嚥等事例毎に作成し、初期対応や応急手当で訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故などがあった時は、ひやり・はっとや事故報告書を作成し、皆で共有し、対応を考え、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むようにしている。法人独自のマニュアルを作成し、いざという時に備えている。また、施設研修で再確認している。		
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防避難訓練を行ったり、運営推進会議で災害時の避難について話し合っています。また、緊急連絡網を作っています。自治会長や近隣住民と災害避難について話し合い、風水害地震マニュアルを作成し、施設内研修で全職員に周知しています。各階にスプリンクラーを設置しています。	年2回、利用者も参加して避難訓練や防災訓練を実施している。運営推進会議で自治会長、近隣住民などで避難や地域防災について話し合い、緊急連絡網を作っている。緊急時に備えた飲料水の備蓄をし、事業所を地域の人の避難場所として提供できることを伝えるなど、地域との協力体制を築いている。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、避難訓練を行ったり、運営推進会議で災害時の避難について話し合っている。緊急連絡網を作っている。自治会長や近隣住民と災害避難について話し合い、風水害地震マニュアルを作成し、施設内研修にて職員に周知している。各階にスプリンクラーを設置している。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37 2階	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねないように言葉かけをして、さりげなくフォローしています。記録物はスタッフ間のみで共有できるようになっています。	利用者一人ひとりを尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応をしている。職員の気になる言動はその都度話し合っており、運営推進会議や研修での事例報告・事業所だよりへの写真掲載等は事前に本人や家族の同意を得るなど、プライバシーに配慮した対応をしている	
37 3階	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	他者の前で間違いや失敗を指摘したりせず、さりげなくフォローしている。記録物は、職員間のみで共有できるようにしている。		
38 2階		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた言葉かけを行い、ご本人の意見が出せるように工夫しています。声かけをして3秒待つを実践しています。		
38 3階		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた言葉かけを行い、ご本人の意思が出せるように工夫している。声をかけをして3秒待つを実践している。		
39 2階		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに合わせてマイペースに過ごしていただいています。入浴、食事、就寝、起床の時間はだいたい決めています。無理強いすることなく、ご本人の体調、気分に合わせて対応しています。		
39 3階		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いすることなく、マイペースで過ごしていただいている。入浴や食事、就寝や起床の時間帯は概ね決めているが、本人の体調や気分にあわせて柔軟に対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	2階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容利用時はご本人の希望する髪型にカットしてもらっています。近所の洋服店に一緒に行き、好みの洋服を買ったりすることもあります。また、外出時にはお化粧をしています。		
40	3階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望される方は、馴染みの店に行けるように援助している。訪問美容利用時は、本人さんの希望する髪型にカットしてもらっている。外出時には、一緒に服を選んだり、お化粧をしている。夏祭り等では、浴衣を着たりし、おしゃれを楽しめるようにしている。		
41	2階	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	夜勤者が入居者さんのリクエスト、好きな物や近所の方からいただいた野菜を使う料理を考えながら献立をたてています。また、食事の下ごしらえ、片付けをできる方に手伝っていただきながら行っています。	ユニット毎に利用者の希望や食材の在庫を見て献立を作り、調理担当職員が調理している。利用者は買い物、調理、後片付けなどできることを職員と一緒にしている。管理栄養士の指導を定期的に受け、栄養バランスのとれた食事を提供している。利用者と職員は同じものを食べ、職員は見守りや介助をしながら、食事が楽しめるように支援している。外食、行事食、おやつづくりなどの工夫をしている。	
41	3階	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	夜勤者が利用者さんのリクエストや近所からいただいた野菜を使う料理を考えたりしながら、献立をたてている。食事の準備、片付けを、できる方、好きな方に手伝っていただきながら行っている。		
42	2階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのその時の状態に合わせて、食事の状態を変えたり、臨機応変に対応しています。水分摂取の少ない方には本人の好みに合ったものなどを提供して摂取を促しています。		
42	3階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのその時の状態に合わせて状態を変えたり、臨機応変に対応している。水分摂取量の少ない方に対しては、本人の嗜好に合ったものなどを提供し、摂取を促している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	2階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりに応じた口腔ケアを行っています。また、週1回義歯を消毒しています。異常を見つけたらすぐに歯科検診に行けるように援助しています。		
43	3階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。また、週に1回義歯を消毒している。異常を早期発見し、歯科受診を援助している。		
44	(19) 2階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンや習慣、尿意等のサインを把握しながら、その方にとって快適なより良いケア方法を行えるように努めています。また、ケア方法やパットの種類なども時間帯、状況に合わせて使い分けています。	記録を活用し、排泄パターンや排泄状況を把握して、利用者一人ひとりに併せて、トイレでの排泄を支援している。	
44	(19) 3階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや習慣、尿意等のサインを把握しながら、その方にとって快適な、よりよいケア方法を行えるよう努めている。また、ケア方法やパットの種類なども、時間帯、状況に合わせて使い分けている。		
45	2階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分補給が難しい場合は、ご本人の嗜好に合わせた物を提供したり、摂取しやすい形態にするなどして対応しています。また、できるだけ身体を動かしていただくように散歩やレク等に誘い、働きかけています。		
45	3階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分摂取が難しい場合については、ご本人の嗜好に合わせたものを提供したり、摂取しやすい形態にするなどして対応している。また、できるだけ身体を動かしていただくよう、散歩やレクに誘い働きかけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できるように機会を提供しています。不穏な状態などで拒否があった時は無理強いせず、気分転換を図ってから再度お誘いしています。	毎日、10時30分から17時ぐらいまで入浴可能で、希望に応じて入浴できるように支援している。入浴をしたくない利用者には時間を見計らってさりげなく声かけし、シャワー浴や足浴にも対応している。希望により夜間入浴に対応する事もある。	
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望や体調に合わせて入浴している。不穏状態などで拒否があった場合は、無理強いせず、気分転換を図り、スタッフが交替したりして再度誘ったりしている。		
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時の状況に応じて休みたい時は休んでいただいています。夜間不眠がみられる時は日中の活動を増やしたり、夜間安眠できるように支援しています。		
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転が、起こらない程度に、休みたいときは休んでいただいている。夜間不眠がみられる方には、日中の活動を増やすなど、夜間安眠ができるように支援している。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用については、カルテなどにファイルして把握しています。症状が変化した時は医師や看護師に速やかに連絡を取って指示を仰いでいます。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用については、薬入れにファイルし、把握している。症状が変化した時は、医師や看護師に速やかに連絡を取って指示を仰いでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きなこと、得意なことを主役になって行っていただけるように支援しています。(調理手伝い、洗濯物たたみ、食器片付け、レク、手芸など)	文化祭へ出展する為の作品づくりや事業所の壁面を飾る作品づくり、交通安全のマスコットづくり、レクレーション、歌、体操、散歩、買い物、外食、洗濯物たたみ、後片付けなどの楽しみ事や活躍できる場面をつくり、張合いのある暮らしができるように支援している。	
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きなこと、得意なことを主役になって行っていただけるよう支援している。(調理、洗濯、食器片付け、掃除、手芸、レク)		
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所へ散歩に出かけたり、他フロアへスタッフと出かけたりしています。また、食材の買い出しなど同行していただいています。「外へ出たい」等の要望や帰宅願望などがあれば、付き添って気分転換を図っています。花見や秋の行楽などの外出計画を立てて実施しています。また、馴染みの場所や店、自宅などへの外出、外食なども個別に行っています。	散歩や買い物、外食、馴染みの場所に出かけている。季節の行楽行事には家族も参加して行うなど、戸外に出かけられるように支援している。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所への散歩や他フロアへの訪問に誘ったりしている。また、食材の買い出しなどに同行していただいている。「外へ出たい」、帰宅願望などがあれば付き添って気分転換を図っている。花見や秋の行楽、幼稚園行事、地区の文化祭、交通安全推進運動等外出計画をたて実施している。また、馴染みの場所や店、を個別に行っている。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望に応じて、お金を所持、使用しています。スタッフが「お預かり金」を管理し、希望する時に一緒に買い物に行ったり、代行しています。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の要望に応じて、お金を所持、使用している。職員がお預かり金を管理しており、希望時等に一緒に買い物に行ったり、代行している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	2階	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればご本人からご家族や友人に電話をかけられるように支援しています。また、ご家族からよく電話がかかり、楽しくお話をされています。		
52	3階	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば対応している。年賀状などの季節のお手紙を書けるように援助している。		
53	(23) 2階	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事の様子を掲示したりして、見た時に「この時は〇〇でしたね」等と会話を楽しんでいます。台所は開放的で調理の様子も見え、音や匂いもフロアに伝わっています。不快な音や光がないようにテレビの音量や部屋の明るさの調節、カーテンの開閉などを入居者さんに確認しながら行っています。	フロアは自然の光を取り入れ、明るく広々としていて、温度や湿度、換気に配慮している。窓からの眺めがよく、季節の移ろいや風を感じることができる。壁面に利用者の作品や行事の写真を飾り、利用者との会話が弾むように工夫している。オープンキッチンには、生活感があるなど利用者が居心地良く過ごせるように支援している。	
53	(23) 3階	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	折り紙、ちぎり絵で季節に合う作品を利用者と職員で作し、壁に飾っている。台所は開放的で、調理の様子も見え、音や匂いもフロアに伝わっている。不快な音や光がないように、テレビの音量やカーテンの開閉などの調整を、利用者に確認しながら行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	2階	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの座る位置は特に決めていません。 (食事の時はだいたい決まっていますが)それぞれが好きな場所に座っておられます。ソファ어도設置し、寝転んだりしながらゆっくりと過ごしています。		
54	3階	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれが好きな場所に座っておられる。ソファ어도設置し、寝転んだりしながらゆっくりと過ごされている。		
55	2階	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンや衣装タンス、小物などは、ご本人が使われていた馴染みの物や好みの物をほとんどの方が持って来られています。	タンス、鏡台、本、人形、位牌、家族写真など、馴染みのものや好みのものを持ち込んで、安心して暮らせるよう工夫している。	
55	3階	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	小物、カーテン等、なじみのものや、好みのものを持ちこまれている方がほとんど。片付けができない方については、一緒に片付けなどの援助をしている。		
56	2階	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来なくなったこと、分からなくなったことは一緒に行ってフォローしながらうまくできるように入居者さんに合った声かけをしています。バリアフリー、クッションフロア、手すりを設置しています。		
56	3階	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	わからないこと、出来なくなったことは、一緒に行ったりフォローしながら、うまくできるように、利用者さんに合った声かけをしている。バリアフリー、クッションフロア、手すりを設置している。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームだんけぐーと有延

作成日：平成 25 年 1 月 7 日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	49	重度化に伴い、排泄・食事・保清といった身体介護が中心になっているように思う。張り合いや喜びのある日々が後回しになっている。	心地よさを目標に、本人の視点に立ち、今何が楽しみか、何に興味があるのか、常に目的意識を持ち日々の生活を支えていく。	○利用者に必ず個別に挨拶していく ○センター方式の見直し(その人の人となり) ○レク、散歩の実施 ○楽しむことの技術向上研修	12か月
2	14	プリセプターシップが十分機能していない現状がある。フィードバックの機能が働いていない。新人職員が退職した時プリセプターが責任を感じてしまう。	プリセプターの補佐ができる。	○教える事で一緒に成長できるよう、プリセプターの人選を考える ○毎月の主任会議で進捗状況を確認、問題点があれば解決策をその場で考える ○新人にそれとなく他部署の主任副主任も声をかけるようにする	12か月
3	14	職員の経験年数や認知症の理解度がまちまちである。	経験年数や個人の能力に合わせた研修ができスタッフなりの考える介護ができる。	○経験年数に応じた年間研修計画の実施 ○人事考課・個人目標・チェックリストの活用 ○個人面談の実施	12か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。